

7 - 1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 (1998年5月～1998年10月)

Recent Seismic Activiti in and around Kinki,Chugoku and Shikoku Districts (May, 1998-October, 1998).

大阪管区気象台
Osaka District Meteorological observatory, JMA

この期間の近畿・中国・四国地方の地震活動は、和歌山県北西部から紀伊水道北部を除いて比較的静穏であった。マグニチュード4.0を超えた地震は6個で、周辺地域では13個あった。このうち最大の地震は、6月1日の三重県南部の地震(M6.0 H=436km)であった。この地震は、太平洋プレート内で発生した地震で、関東から東北地方のみで有感(最大震度2)となる異常震域となった。

期間中に管内で有感となった地震は、5月12回、6月11回、7月6回、8月9回、9月10回、10月9回であった。

和歌山県北西部から紀伊水道北部にかけて、マグニチュード4.0以下の小さな地震活動は、前期から引き続きやや活発な状況が続いている。この地域を震源とする浅い地震による有感地震は21回であった。主な地震として、5月6日和歌山県北部の地震(M3.7)により、和歌山市・海南市で震度3を観測したほか、和歌山県北部を中心に大阪府南部にかけて有感となった。

フィリピン海プレートの沈み込みに伴って発生した地震としては、6月10日和歌山県北部の地震(M4.2 H=60km)により、奈良県吉野町・和歌山県川辺町などで震度3を観測したほか、紀伊半島を中心に四国、東海地方の一部で有感となった。

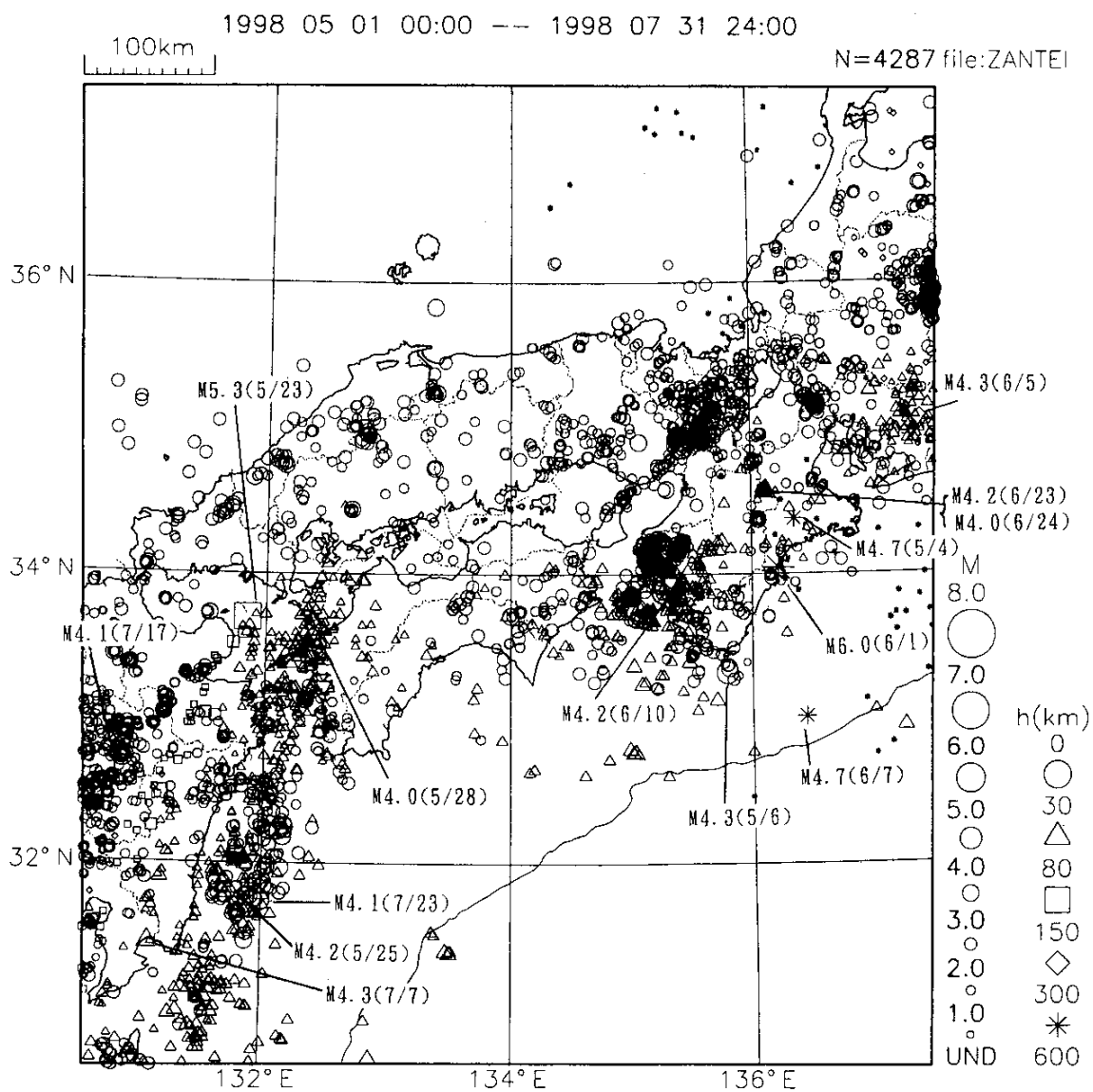
6月23日三重県中部の地震(M4.2 H=44km)では、奈良県天理市・上牧町で震度4を観測したほか、東海から近畿及び四国東部にかけての広い範囲で有感となった。この地震の発振機構は、西北西-東南東に伸張軸をもつ正断層型であった。翌24日に発生した(M4.0)の有感地震を最大として、7月31日までに103個の余震が発生している。この地震のやや北西よりの三重・京都・奈良県境付近で、1854年にM7.3の地震が発生しており、三重県西部、奈良県北部を中心に大きな被害が出ている。

8月8日兵庫県南東部(猪名川町付近)の地震(M3.3)により、大阪府箕面市・兵庫県猪名川町で震度1を観測した。このほかに無感地震を16回観測するなどやや活発な活動が見られた。

中国地方ではとくに目立った活動はなかった。

豊後水道では、フィリピン海プレートの沈み込みに伴うプレート境界付近の地震活動はやや活発だが、浅い地震は比較的少ない。宇和島南西沖(第3函枠内)では、今年の5月頃から活動が次第に活発となり、7月27日M3.9の地震が発生し、宇和町などで震度2を観測している。津波地震検知網の整備に伴い検知能力の違いもあるが、1944年末(これ以前の活動はみられない)からは、約1年ごとに活動(活動期間約5～6ヶ月)を繰り返しているが地震の規模は小さい。

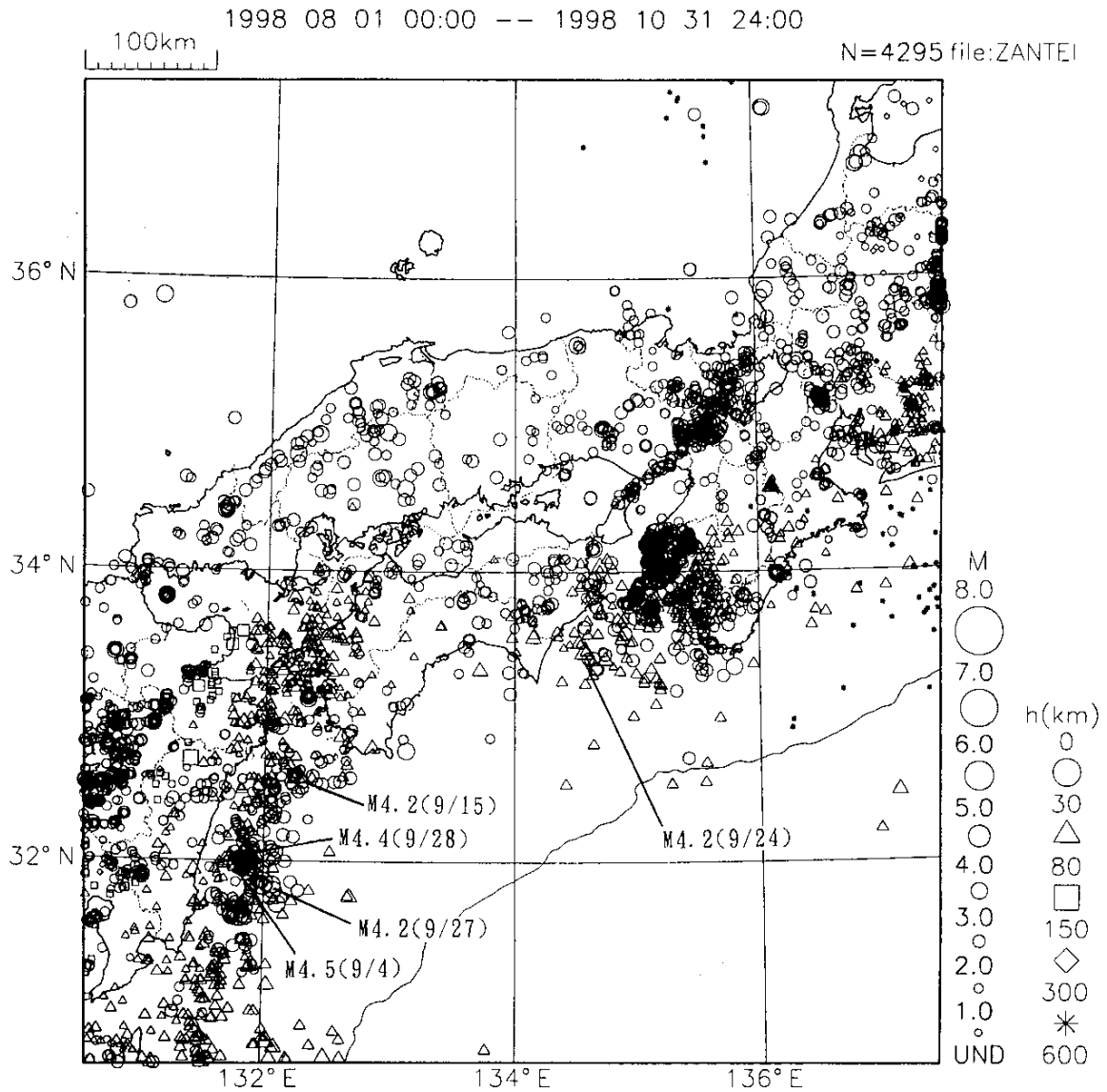
「兵庫県南部地震」の余震活動は、その後も引き続き順調に減衰している。有感余震は今年の1月19日(最大震度1)以来発生していない。この期間の無感余震は21回あった。本震発生から10月31日までの余震回数は2701回、有感回数は420回であった。



注) 図中のマークはM4以上の地震を示す

第1図 近畿・中国・四国地方とその周辺の震央分布図(1998年5月~1998年7月)

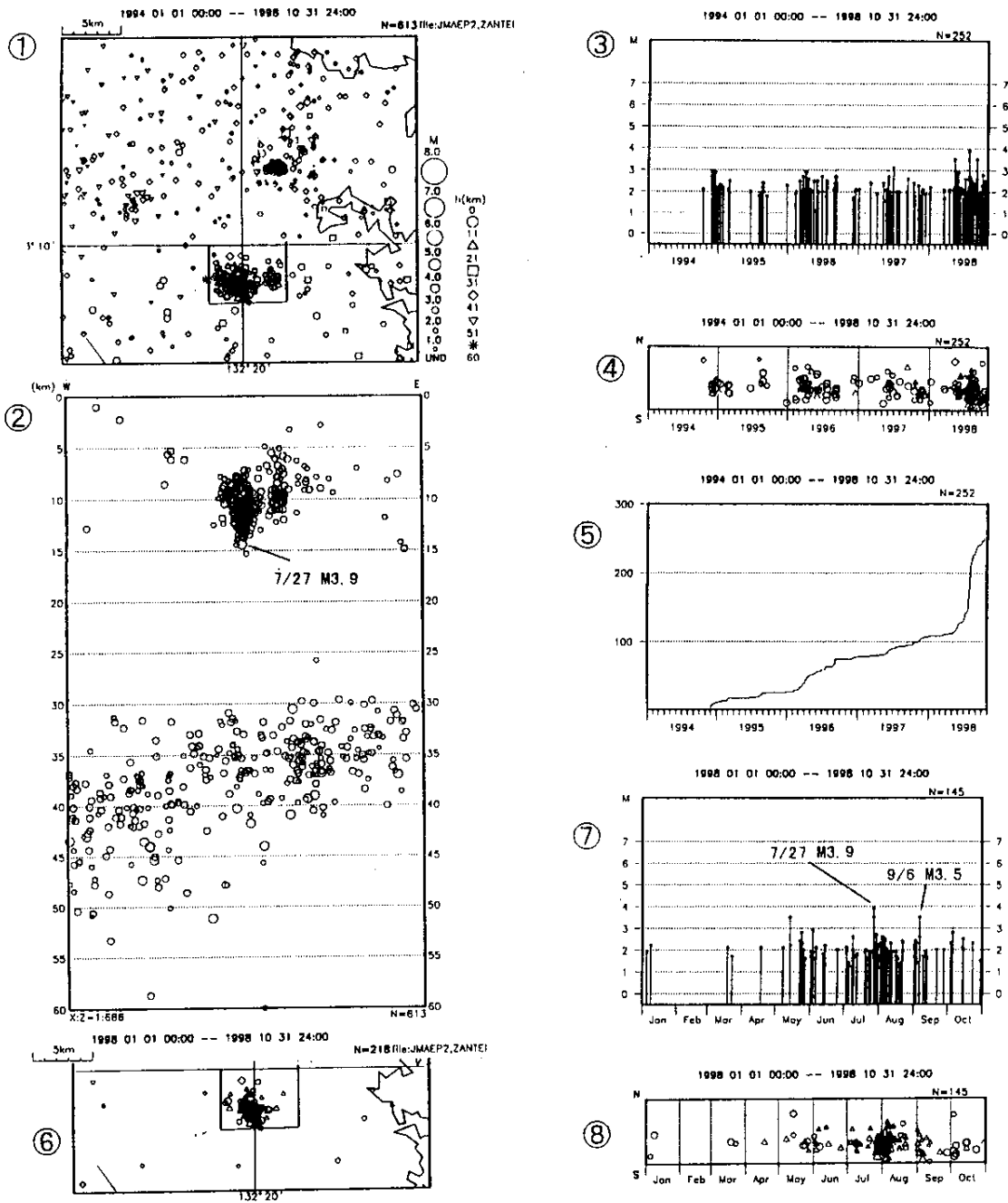
Fig.1 Epicentral distribution in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku Districts (May, 1998-July, 1998).



注) 図中のマークはM4以上の地震を示す

第2図 近畿・中国・四国地方とその周辺の震央分布図(1998年8月~1998年10月)

Fig.2 Epicentral distribution in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku Districts
 (August, 1998-October, 1998).

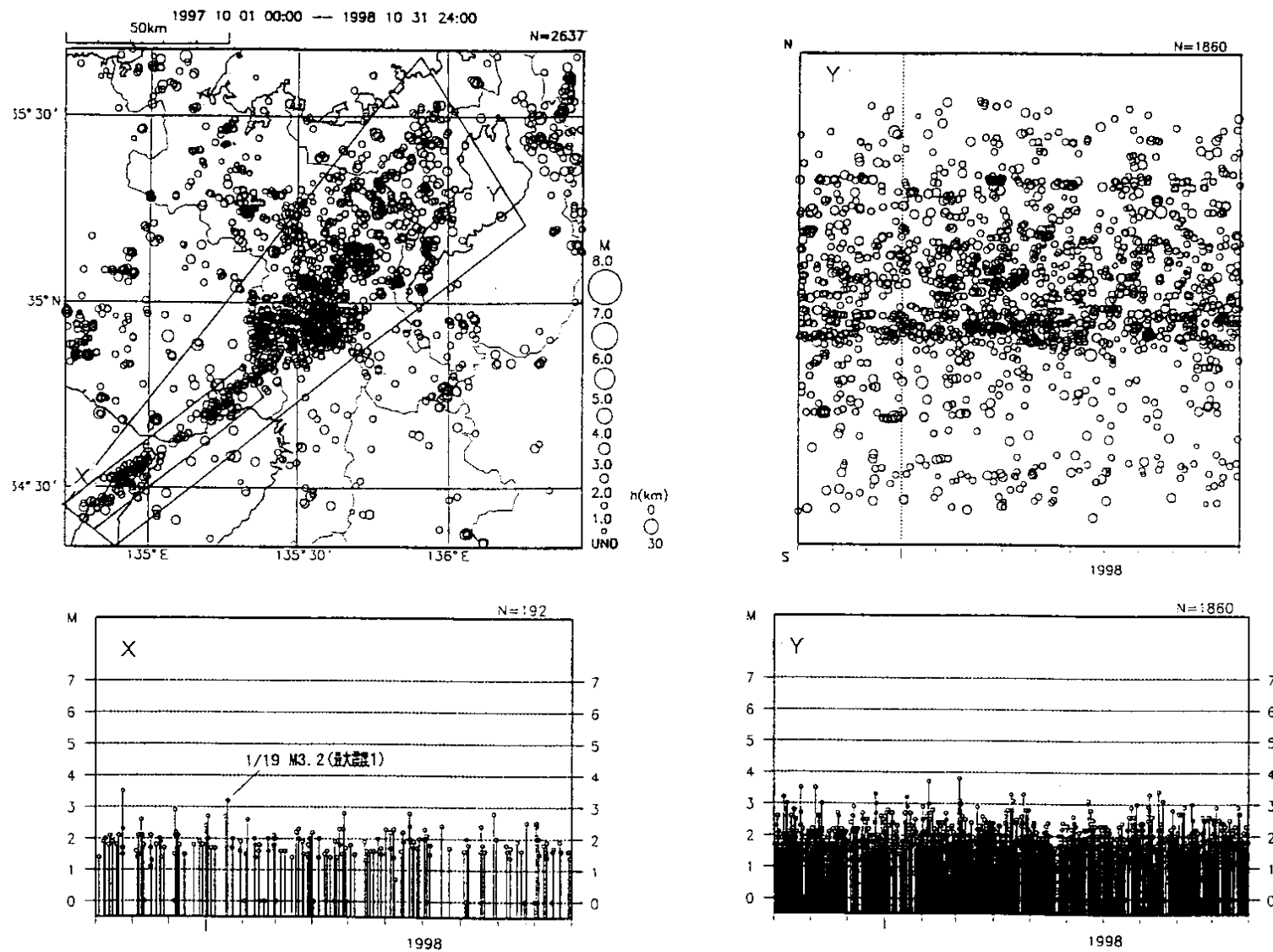


第3図 宇和島南西沖の地震活動 (1994年1月~1998年10月)

震央分布図 断面図 M-T図 時空間分布図 回数積算図 震央分布図
 (1998年1月~10月) M-T図 時空間分布図
 から は の枠内のみ, から は の枠内のみ

Fig.3 Seismic activity in southwest off Uwajima (January, 1994-October, 1998).

Epicentral distribution. Vertical section. M-T diagram. Space-time plots.
 cumulative number. Epicentral distribution. M-T diagram. Space-time plots.
 (- are made using the earthquake data in the rectangle area of).
 (- are made using the earthquake data in the rectangle area of).



第4図 兵庫県南部地震の余震活動と周辺の地震活動 (1997年10月~1998年10月)

Fig.4 Aftershocks of the 1995 Hyogoken-Nanbu Earthquake and seismic activity of the adjacent region.